



第二中だより

No. 560

開校 53周年

生徒数 424名

令和元年 10月2日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



秋到来

校長 橋本 真

皆さんも感じたと思いますが、木々の蝉の声から草むらから聞こえるコオロギなどの虫の声に変わってきました。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言われていますが、この数日間で夏の暑さから解放され、秋の過ごしやすい季節となりました。お彼岸には、祖先のお墓参りをするという日本の古くからの風習がありますが、皆さんの中にも家族でお墓参りに行った人もいると思います。皆さんは「秋」例えば、どんな秋を想像しますか？「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「実りの秋」「食欲の秋」など様々ですが、いずれにしても自然も人間も成熟するととてもよい季節です。一人ひとりがどんな秋にしようか、ひとつの目標を持って頑張ってください。



新人戦壮行会（9月17日）

生徒会主催の新人戦壮行会がありました。各部長からの決意表明と生徒会からの激励の言葉、吹奏楽部の激励の演奏がありました。会場では、全校生徒の「つながる元気」、「みんなの本気」を実感しました。

9月28日（土）から新人戦が始まりました。この夏は、例年のない猛暑の日が続きましたが、いよいよ、その夏場の練習の成果を発揮する時がやってきました。新チームになって、悩んだこと、つらかったこと、楽しかったこと、うれしかったこと、失敗したり成功したり、いろいろなことがあったと思います。人は、こういうことを繰り返すことで、成長し、チームも少しずつ強くなっていきます。結果を出すために、あれこれと試したり、工夫したりしてみたいと思います。そして、結果を出すためには、勢いが大切です。勢いはどうしたら生まれるか。とにかく、声です。大きな声であいさつをして、大きな声で仲間に声をかけ、みんなで大きな声を掛け合うことです。先生たちもみんなと一緒に戦いたいと思います。期待しています。

10月30日は三葉祭です

合唱の舞台での緊張感はどこからかというが必要です。いい緊張感（テンション）があるためにいい演奏ができるともいえます。また、お互いの緊張感が集中力を高めて、練習の時よりもいい演奏ができることもあります。「あんなに練習してきたのだから大丈夫。絶対うまくいく」と声をかけると、全員が一体となって表現することで、全員がひとつの目標に向かって突き進みます。辛いときには、頼れる友達が、楽しいときには共に感動する友達がいます。前任の佐藤校長先生からは、毎年この舞台で緊張感のある感動的な発表が繰り広げられていることを聞いています。ます。自分が今、何をしなければいけないかよく考え、みんなで協力して、感動的なステージにしてください。期待しています。

人の気持ちを理解して行動する力

本年度の県学力学習状況調査結果から自己有用感、他者理解、規範意識が高い生徒ほど学力が伸びていることが明確になりました。特に「難しいことでも挑戦する」自信、「先生、友達の発言を良く聞き、自分の気持ちをしっかり伝える」他者理解、「学校の決まりを守る」規範意識の高さが反映されています。そこで、1年生では、「生活改善プロジェクト」を展開し、規範意識を高める活動をしました。2年生では、「風船に込めたありがとう」を作成し、集団での励まし合い、支え合い、教え合いなど友達と関わら合う活動を大切に、友達とのつながりを意識させる取り組みを行っています。

